

札幌圏の物流拠点「石狩湾新港地域」の現況

石狩から始まる物流改革

北海道経済の中心である札幌圏に位置し、札幌市中心部からわずか15kmに位置する国際貿易港である石狩湾新港の背後には、総面積約3,000ヘクタールの工業団地「石狩湾新港地域」が広がっています。

同地域には、流通業や製造業など多種多様な企業が約750社立地し、札幌圏をはじめとした北海道民の生活を支えています。

特に近年は、大型の物流施設が多く立地していることから、本港とともに発展し続ける同地域の物流施設の最新動向をお伝えします。



■東京ドーム2つ分の広大な敷地に建設されたニトリ石狩DC

これまで以上に港が至近

令和4年5月、ニトリグループが全国で取り組む物流網再構築の第一弾として、延べ床面積23,228坪の大型物流センター「石狩DC（※1）」が完成しました。

同DCは、今後更なるニトリ店舗の出店加速やEC（※2）需要の拡大、国内輸送コストの削減等に対応するため、札幌圏に位置し、国際貿易港である石狩湾新港に隣接する同地域に建設されました。運用は、ニトリグループの物流部門を担うホームロジスティクス株式会社が担い、道内に25店舗（令和4年8月現在あるニトリ店舗へ商品を配送する拠点となります）。



■ドレージ輸送に使われる(株)ホームカーゴのトレーラーヘッド



■石狩DCと本港の位置関係

ニトリでは、取り扱う品目の90%以上を海外から調達しています。主に本港を利用して輸入された貨物は、ホームロジスティクス(株)の子会社である株式会社ホームカーゴによりドレージ輸送が行われると伺っており、本港を利用し、年間を通じて安定した輸入貨物の受入れが可能となります。

同DCの担当者からは、稼働後は、1日あたり1台で5往復程度のドレージ輸送を見込み、本港での輸入貨物の取扱いも増加する予定と伺っており、本港の利便性を活かした企業立地による、地域全体の活性化が期待されます。

石狩から北海道全域へ

同地域においては、令和3年8月にイオン北海道株式会社が物流の効率化と商品開発を目的に「石狩PC（※3）」を、同

年11月には株式会社トーウンが最新鋭のマルチテナント型倉庫を稼働させるなど、近年、大型の物流施設が多数立地しており、本港の利用拡大や同地域の更なる活性化に繋がることを期待しています。



■延べ床面積8,337坪のイオン北海道(株)石狩PC

本港としましては、ご利用いただく皆様にとって、より利便性の高い港湾を目指すとともに、札幌圏の物流拠点として、北海道経済の更なる発展に寄与してまいります。

※1 DC：Distribution Center（在庫保管型物流センター）

※2 EC：Electronic Commerce（電子商取引）

※3 PC：Process Center（生鮮品の加工や包装・配送等を一括して行う拠点）

石狩の魅力発信！ 関西物流展

当組合では、関西圏で本港のPRをすることを目的に、6月22日から24日まで大阪市で開催された「第3回関西物流展」に出展しました。

同展示会には、過去最多となる22,000人を超える来場者が集まり、本港ブースにも多くの方々にお越しいただきました。

当ブースでお話しさせていただいた方からは、「札幌のすぐ近くにこのような港があることを知らなかった」、「今後、石狩湾新港の利用を検討したい」などといった声を聞くことができ、お客様に直接本港の特徴などを説明できる機会の重要性を改めて実感しました。



■石狩湾新港ブース

「繋がり」を大切に みなとPRの取り組み

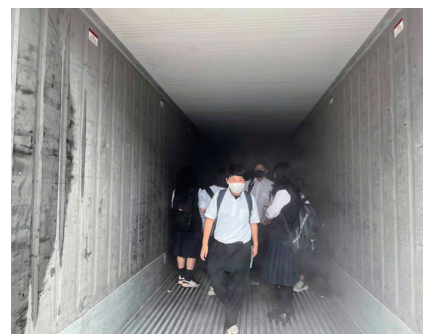
当組合では、物流の関係者や将来を担う子ども達など、様々な方に本港の役割や魅力をお伝えする取り組みを行っています。

お会いした皆様との「繋がり」を大切に、今後も積極的な情報発信を続けてまいります。

楽しく学ぼう！ みなと見学

当組合では、港湾や物流に少しでも興味を持ってもらうことを目的として、主に小中学生の港見学を受け入れており、本年7月には、石狩市内中学校の1年生が石狩湾新港を見学しました。

今後も、皆様に本港の特徴をお伝えし、更なる利用拡大を図るため、関西圏や首都圏における展示会に出展してまいりますので、「石狩湾新港を見かけたら、是非お立ち寄りください！」



■寒い！リーファーコンテナの中で-20℃を体験

今回の見学は、石狩湾新港の役割について学ぶために行ったもので、本港が私たちの生活を支える役割を果たしていることなどをご紹介しました。

子ども達は、リーファーコンテナやリーチスタッカーを間近で見学した際には、「大きな冷凍庫みたい！」、「こんなに大きなタイヤ見たことない！」など目を輝かせており、楽しく学習をしていました。

この見学をきっかけに、業界に興味を持っていたき、将来、港に関わってくれる子ども達が現れることを期待しています！



■背丈より大きなタイヤ！

石狩湾新港地域に工場・店舗・レストランを構える佐藤水産。お店には、こだわりの天然鮭や種類豊富な水産加工品など、美味しい海の幸がズラリ。近年は、地元石狩市のふるさと納税の返礼品としても大人気とのこと。

数ある人気商品の中でも、特にオススメなのが、鮭の切り身。「天然にこだわって厳選された鮭をお店で一つ一つ捌きます。人気の紅鮭は、ジューシーな食感と豊かな風味が楽しめます。」

その他にも、お土産に大人気のオリジナル燻製「ロッキーマン」や店内で調理される出来たての惣菜など、地元の方から観光客まで大満足間違いなしの商品が並びます。

また、店舗2階のシーフードレストラン「オールドリバー」では、石狩川を望みながら、北海道産の旬の食材を活かしたメニューを味わうことができます。



■品切れ続出のロッキーマン



石狩湾新港地域の注目スポットや北海道の魅力をお伝えする「ぶ・ら・りしんこうの旅」。大好評(?)の前回に続く第二回は、北海道の海産物のお土産と言えばこれ！佐藤水産さんをご紹介します。



■佐藤水産の最新情報はコチラから！



■ボリューム満点のおむすびとスッパリした後味の塩ソフト

早速、人気商品をいただいてみましょう。せっかく来たからにはオススメを食べなくては。あくまでも仕事です。今回いただいたのは、名物の「海鮮ジャンボおむすび」。一番人気のミックス（秋鮭と手まり筋子）です。塩気の効いたお米、フワツとした秋鮭、まるやかな筋子をいっぺんに味わえて最高に美味しいです。ジャンボというだけあって、大きさは握りこぶし以上。二つ目を食べたい気持ちを抑え、こちらも人気の塩ソフトで締めました。幸せです。この企画の担当で良かった。

まだまだ魅力的な商品がたくさんありますので、皆さんも是非足を運んでみてくださいね！それでは、また次回！